

自己評価の実施及び公表に関する報告書(令和6年度実施分)

令和 7年 2月 10日

事業所名	(株) 奏音 発達支援ルームどれみ
事業	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
住所	広島市安佐南区東野1丁目18-21-103
電話番号	082-555-8287
担当者職・氏名	管理者 安田 徳志

項目	内容	実施時期	特記事項
保護者等による評価	利用する障害児の保護者等を対象としたアンケートを実施する。	令和 6年 12月	
従業者による評価	事業所の従業者による自己評価を行う。	令和 6年 12月	
訪問先施設による評価 ※ 保育所等訪問支援のみ実施すること。	実際に訪問支援を受け入れる保育所等による評価を実施する。	令和 年 月	
事業所全体による自己評価	保護者及び従業者による評価の結果を踏まえて、事業所全体で自己評価を行う。	令和 7年 2月	
	職員間で認識が共有された課題については、改善に向けた具体的な見通しや取組を検討する。	令和 7年 2月	
自己評価結果等の公表	自己評価結果等をインターネットその他方法により公表する。	令和 7年 2月 (公表方法 事業所内掲示 HPへの掲載)	
	保護者等の評価(アンケート)結果を保護者等にフィードバックする。	令和 7年 2月	

※ 公表した自己評価結果を添付してください。

※ 令和6年2月14日(金)までに提出してください。期限内に報告が難しい場合は、報告予定日を速やかに連絡してください。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームどれみ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	102件	(回答者数) 48件
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11件	(回答者数) 10件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 職場内での勉強会や部外研修参加の機会も充実しており、療育を学べる環境が整っています。 個々のニーズや課題に対して、保護者の思いを踏まえながら支援できるよう努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 自発的に勉強会に参加できるよう事業所内で声を掛け合い、療育力の向上を目指しています。 目標に向けての取り組みや児の課題がわかりやすいようなカルテ記入を心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な視点で利用者のアセスメント・評価ができるよう、事業所全体の底上げの必要性を感じています。勉強会の参加の促しや、若い職員への指導の工夫に加え、療育中の気付きを伝えフォローし合う体制の充実を図ります。
2	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で、利用児の療育内での姿や家庭での様子、保護者の状況など小さな情報も共通理解ができるよう、常に情報交換する意識を持っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 上長に報告することや全員で情報共有することが、利用児や保護者との信頼関係に繋がることを伝え、個々の意識が高まるよう努めています。伝達漏れ防止や振り返りのため、視覚的にもわかりやすいよう伝達ノートの記入も取り入れています。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験や年齢、勤務形態に関係なく、事業所内で意見交換が気軽にできる雰囲気や環境づくり、時間を設けていきます。 報告忘れや共通認識のズレなどもあるため、声に出し確認し合う等、より徹底できるよう努めています。
3	<ul style="list-style-type: none"> 利用後には保護者へのフィードバックで児の課題や目標について情報共有したり相談を受ける等、保護者との信頼関係を築くことを大切にしています。また、「子どもどれみを楽しみにしている」との言葉をいただくことが多く、楽しい療育の場が提供できているように思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の話を丁寧に聞きながら思いを汲み取ることや、児の課題だけでなく成長を共に喜び合えることを大切にしています。 相談に対して分からない事は即答しないで、他の職員や会社に確認して正しい情報や必要な支援方法を提案できるよう職員で共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の相談や質問に対して迅速な対応、待機の場合には進捗状況を伝える配慮をするなど改善をしています。 利用児が楽しみにできるように、療育の充実・職員の接し方の向上を図ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 利用児や保護者のニーズ・課題を捉えた療育内容の設定や、職員一人ひとりの療育力・専門性の向上、事業所全体で底上げが必要だと思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会参加や、利用児のニーズや課題を共有しながら療育を行うよう努めていますが、職員の経験や専門的な知識不足が課題です。 子どもの行動の予測や対応力、発達理解の未熟さがあり、子どもに関わる経験の少なさが要因であると思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も勉強会や研修の積極的な参加で、知識や療育力を高め、支援の向上に繋げていく必要性を感じています。 経験のある職員が、指導やフォローをしたり、日々の振り返りの中で、職員全体で改善点を話し合う機会を作っていきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の相談や要望に対して、返答を待っていただく時や予約待ちの時など、進捗状況をお伝えしないままで保護者に不信感を与えることがあり、迅速な対応や配慮が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 待ってられる保護者の気持ちに対する認識の甘さや、職員間の報連相が徹底されていないことが課題であると思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> 報連相や情報共有の徹底、返答漏れがないようチェックリストの作成を行っていきます。 チェックリストを確認しながら、時間が掛かりそうなときには、進捗状況を伝える等の配慮ができるよう、職員間での意識統一を心掛けます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上、療育スペースや部屋数が限られているため、クールダウンや待機の場所、保護者や見学者の相談室など、同時の確保が難しいことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 部屋数が限られていることが要因ですが、利用児の特性や状況に合わせて職員がより臨機応変に対応していくことの必要性を感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて職員間の連携を取りながら、落ち着いて過ごせる場所の確保や、遊具の設置工夫を行っていきます。 利用児の人数や特性を踏まえ、保護者相談や見学対応の時間を考慮していきます。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		(株) 奏音 発達支援ルームどれみ				公表日		令和7年 2月 10日				
		利用児童数				98件		回収数		48件		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>				もう少し広かったら良いと思います。	活動に応じて遊具やマットの設置場所を変え、可能な限りスペースが確保できるよう工夫しています。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>				1人の児に対して1人のスタッフが付いているので、ずっと見守ってもらえて安心できる。	一对一の個別療育や、集団活動でも全職員で見守り安全面にも配慮していきます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>									
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>				靴を脱ぎ履きする玄関部分がもう少しスペースが広くってあったり、子ども用の椅子などがあれば良いと思います。	成長に合わせて靴の脱ぎ履きがしやすいような環境を検討していきます。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				本人のタイミングでトイレに行かせてほしいと伝えていたが、情報共有が出来ていなかったのか、トイレの間隔が空いているという理由で半強制的にトイレに行かせようとしたら本人の気持ちが崩れてしまったことがある。	全職員の情報共有と統一した対応の徹底、お子様に寄り添った対応を心掛けていきます。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>									
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>									
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>									
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>					具体的にわかりやすく、細かく計画立てて指導してくださっていると思います。	お一人ひとりの特性や発達、保護者様の願いに合わせた支援ができるよう、今後も取り組んでいきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>					毎回。	お子様の特性に合わせ、目的を持ち、様々な工夫をしながら取り組んでいます。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					<input type="radio"/>	少しでも園側へ連携があるとより良いと思います。	子ども同士の交流はありませんが、ご要望に応じて、情報共有させていただいています。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>									
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>					ペアレント・トレーニングを受けたこともなく、情報もこちらが聞かないと知らないことも多数あるため、そういった情報を事業所側から発信していただけると嬉しいです。	ご家族が参加できる活動など、情報発信できるよう努めています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	<input type="radio"/>									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>					ファイルに書いてあることをそのまま読んでいるスタッフもいます。ファイルに書いてあること以外を口頭で伝え手短かにしていただけたら嬉しいです。(一部抜粋)	取り組みやご様子について要点をとらえてお伝えできるよう、改善してまいります。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>									
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				<input type="radio"/>	保護者同士や子同士の交流の場があるならば、事業所側から積極的に情報を提供していただきたい。 同じ小学校同士の保護者等紹介してもらえたら有難かったです。	事業所内での交流の場が設けられず申し訳ありません。年一回の就学相談会を開催しておりますので、ご案内させていただいております。				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				相談した際も今は待ち状況ですと言われたまま進捗が自分から聞かないと分からないなど、放置されていることもあるので改善していただきたいです。	今後、ご相談やご予約等の際し、進捗状況も随時お伝えし迅速な対応ができるよう改善いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				通信ではいろいろな取り組みをされているんだなど興味深くいつも見せていただいています。	今後も通信でご興味あることがありましたら、ご意見をお聞かせください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○	訓練が行われているかこちらでは分からない状況なので、事業所側から報告いただけると嬉しいです。	非常時の対応を職員で周知徹底し、取り組みについても今後発信できたらと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				楽しんでくれている様です。	これからも、お子様を通所を楽しみにしてもらえよう、職員一同努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				毎回丁寧にフィードバックしてアドバイス等もしてくださり、子どもの様子もちょっとずつ変わってきているように思います。	より満足していただけるよう、問題点の改善や職員の療育力の向上に努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	発達支援ルームどれみ	公表日	令和7年 2月 10日
------	------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		療育の内容に合わせ、運動遊具の配置を変えたり、パーティションを開けて広いスペースを確保し安全面に配慮しています。	建物の構造上狭さや部屋数が少ないため、活動に合わせたスペース確保をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		個別療育では一対一で特性に合わせた対応をしています。集団活動の際も、特性や発達に合わせて職員を配置しています。	集団療育のため、フィードバックの時間が重なるなど、子どもを見守る職員が少なくなるため、安全のためにも、短時間で要点を伝えるよう改善が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			個室が一つの為、来客者があるとクールダウンや活動の間の待機場所がなくなるため、状況に合わせたスペース確保や連携が必要です。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			職員間での情報共有を徹底することや、迅速な対応を行う意識など、業務改善に向けて取り組んでいます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			就労形態や年齢に関係なく、率直な意見交換がどの職員も気軽にできるよう取り組んでいます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内での様々な勉強会が毎月あり、外部の研修に参加できる機会もあります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日々の記録や、振り返りの中で様子を伝えあい、職員全員で共通認識できるようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		日々、様子を伝えあいながら情報共有しています。事前に計画書の確認や療育の組み立てなども行っています。	保護者の思いに寄り添いながらも、今の子どもの発達や課題に合わせた支援ができるよう、職員間の共有が必要です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		利用児の特性を理解し、活動目的に合わせた内容をチームで意見交換しながら立案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		スモールステップで活動を行い、遊びの幅が広がるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別療育と集団活動の両方を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		限られた時間で伝達し、共通認識を心掛けています。	もっとより良い支援ができるよう、一人ひとりの療育力の上達や連携を目指しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		限られた時間の中で伝達や記録、全体の伝達ノートに特記事項を記入するなど、共有を心掛けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		就学相談会を年一回行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		作成前には、保護者の思いやお子様の様子について、丁寧に聞き取りするよう心掛けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画書の読み合わせを行い、同意後、サインをいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		日々のフィードバックの中でお子様の様子を共有し、思いに寄り添った支援を心掛けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			事業所内での交流会はありませんが、法人内で就学相談会を開催しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			地域向けの行事を事業所で行っていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			マニュアルや訓練等、周知徹底が必要です。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			職員が非常時に適切な対応ができるよう、計画を立てて行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		療育前の確認や、契約時や年度替りに既往歴を聞き取り、印をつけて全員で把握しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		療育中に危険が予測される時には伝えあったり、事故後には、原因や今後の対策を話し合うようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				